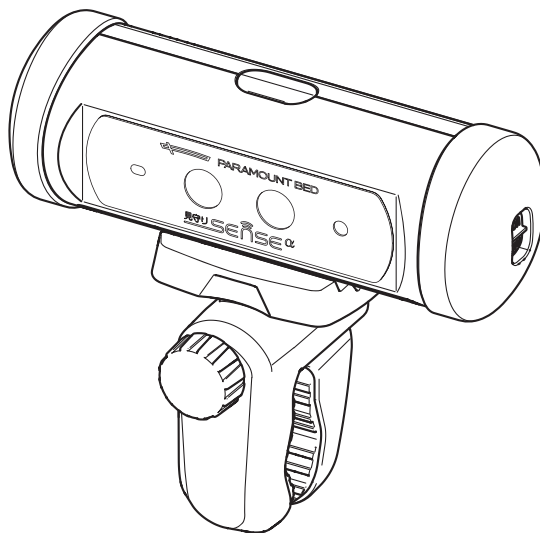


取扱説明書

見守り SENSE α

赤外線センサータイプ
NN-3321 シリーズ

7F13011800A0
保証書付



赤外線センサー

まえがき

このたびは見守りSENSE α （赤外線センサータイプ）（以下、赤外線センサー）をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この「取扱説明書」には、赤外線センサーを安全にお使いいただくための注意事項と使用方法などを記載しています。

- 赤外線センサーをお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。
- 赤外線センサーを使用する方ばかりでなく、付き添いの方もこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- この「取扱説明書」はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。
- この製品は、改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- 動作範囲・寸法・角度・質量などの数値の記載がある場合、その数値には多少の誤差が含まれます。特別なものを除きこの「取扱説明書」では、表示を見やすくするため、約・およそといった言葉を省略しております。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合わせください。
- 赤外線センサーは日本国内専用です。海外では電源電圧が異なるため使用できません。

もくじ

1 使用目的・特長	2
2 部品の確認	3
3 各部の名称	4~5
4 安全に使用するための注意事項	6~8
5 ご使用の前に	9~11
6 設定方法	12~21
7 設置方法	22~24
8 設置後の点検方法	25
9 使用方法	26~27
10 オプションについて.....	28
11 日常の点検とお手入れ	29
12 長期保管と廃棄について	30
13 故障かな?と思ったら.....	31
14 仕様	32
15 アフターサービスについて.....	33

1 使用目的・特長

※本取扱説明書では、赤外線センサー（NN-3321）をベースに説明しています。

■使用目的

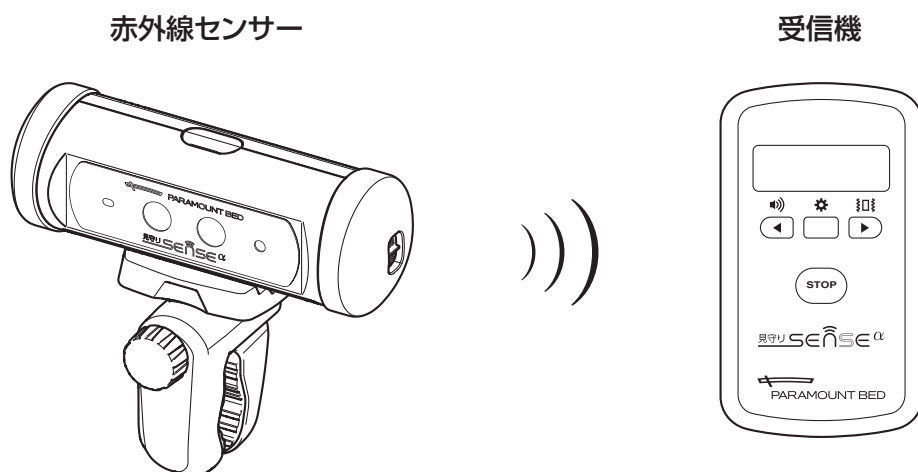
赤外線センサーは、使用者のベッドからの起き上がり、離床や端座位、特定の場所（居室の入口、トイレ、玄関など）への移動を検知し、受信機に通知することを目的に作られています。



本製品はあくまでも使用者の起き上がり、離床/端座位/徘徊を把握するための補助的なシステムであり、使用者の転落・転倒事故などを防ぐことを何ら保証するものではありません。

■特長

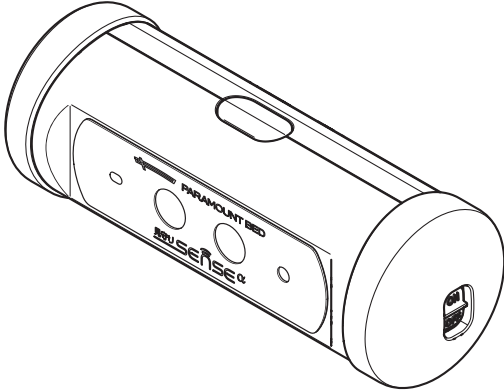
- 赤外線センサーの信号を、受信機に通知することができます。
- 別売のナースコール中継ユニットを使用することで、ご使用中のナースコールに通知することが可能になります。



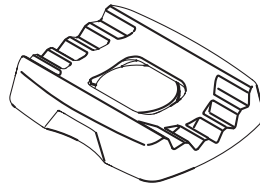
2 部品の確認

開梱後、下記の部品がすべて揃っていること、破損していないことを確認してください。万一、部品の不足や破損があった場合には、お買い上げの販売店または直接弊社までご連絡ください。

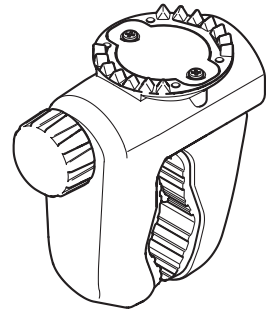
【赤外線センサー】



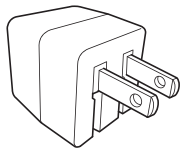
本体×1



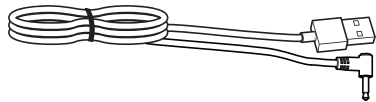
台座×1



アタッチメント×1



ACアダプター×1



フーンプラグケーブル×1

〈赤外線センサー用電源ケーブル〉



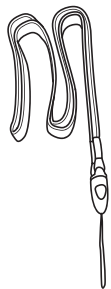
取扱説明書（本書）×1

※保証書付

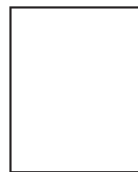
【受信機】



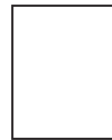
受信機×1



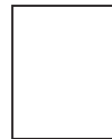
ストラップ×1



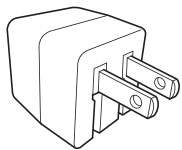
取扱説明書（受信機）×1



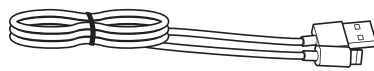
保証書（受信機用）×1



保証書（電源ケーブル用）×1



ACアダプター×1

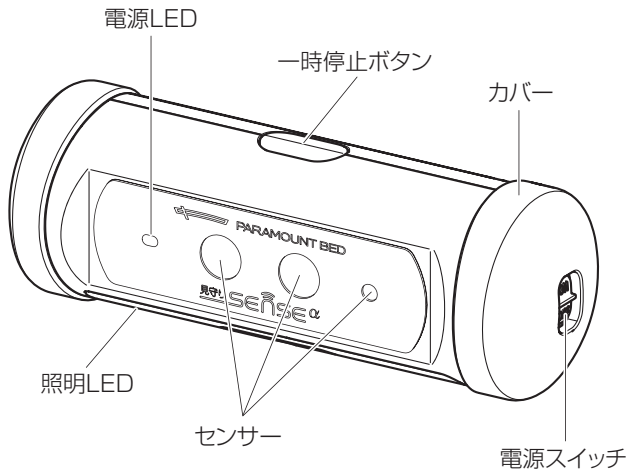


USBケーブル×1

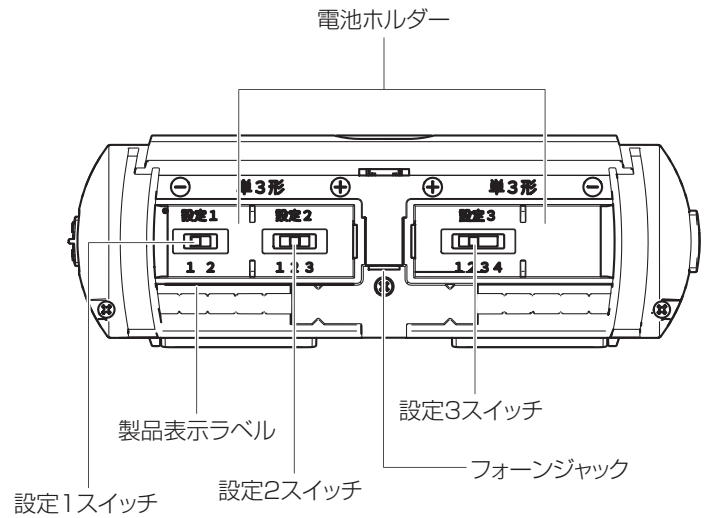
〈電源ケーブル〉

3 各部の名称

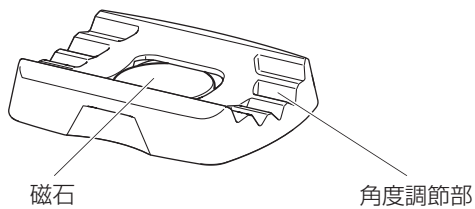
【本体（おもて面）】



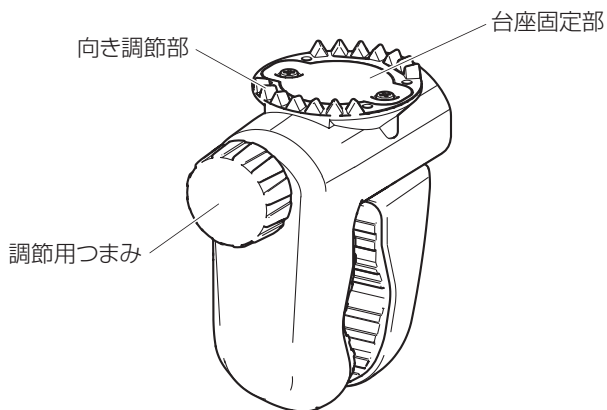
【本体（うら面）】 ※電池カバーを外した状態



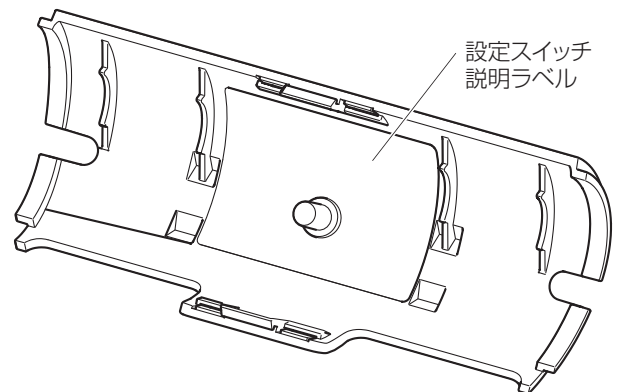
【台座】



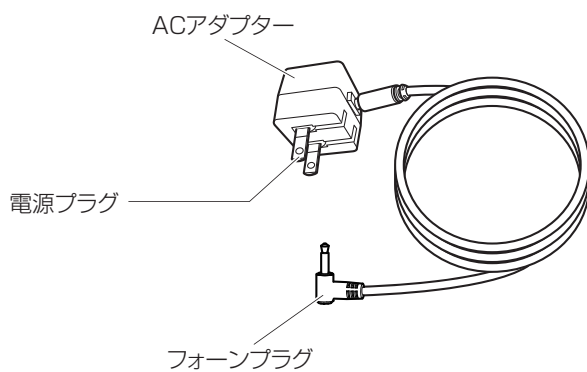
【アタッチメント】



【電池カバー（内側）】

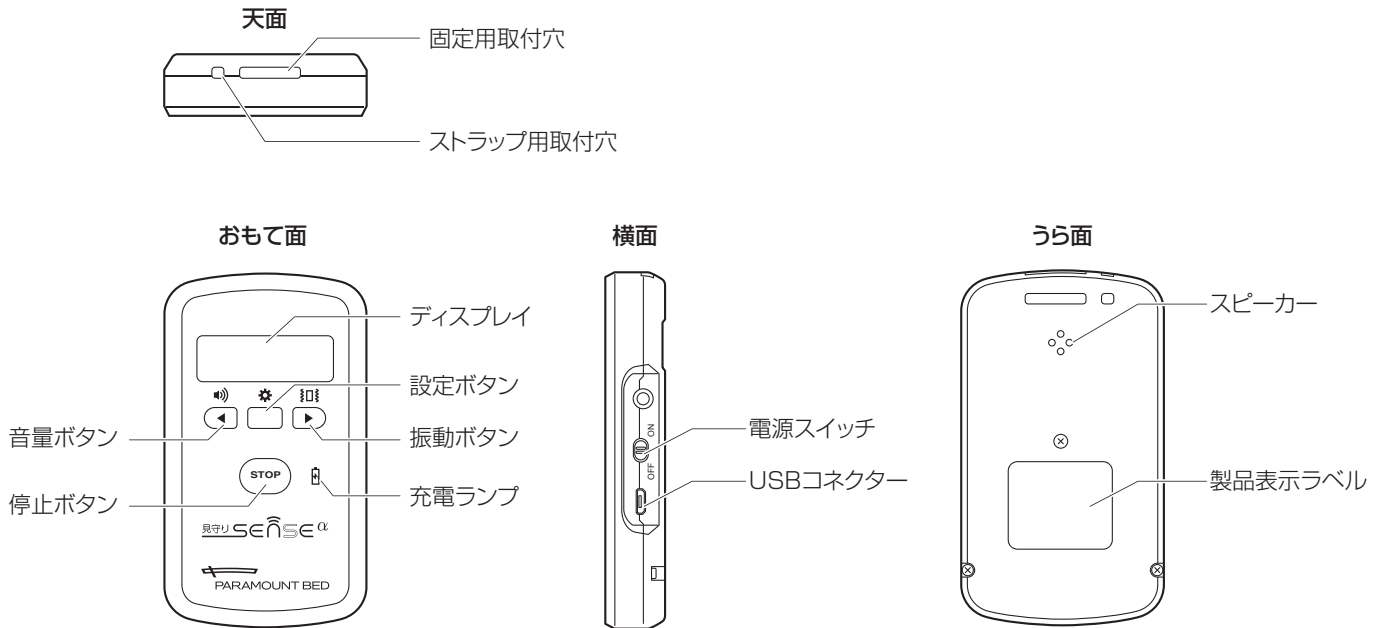


【赤外線センサー用電源ケーブル】

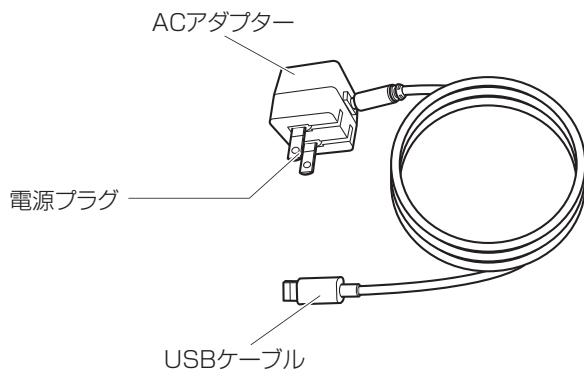


3 各部の名称

【受信機】





【電源ケーブル】



4 安全に使用するための注意事項

■必ずご使用の前にこの「安全に使用するための注意事項」をよくお読みいただき、正しくお使いください

- ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度に応じて「△警告」と「△注意」の二つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷（骨折・圧迫・麻痺 ^{まひ} など）を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷（打撲・すり傷・切り傷など）を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

※取扱説明書をお読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。



■受信機や赤外線センサーに水などをこぼさないでください

- ショートして感電したり、故障したりする原因となります。誤ってこぼしてしまった場合には次の対応を行った上で、販売店またはパラテクノコールセンター（33ページ参照）までご連絡ください。
 - ・水などをこぼしてしまった場合は、受信機と赤外線センサーの電源スイッチをOFFにし、電源ケーブルを使用している場合は電源プラグをコンセントから抜く
 - ・赤外線センサーを電池で使用している場合は、赤外線センサーの電池を取外す

■火気に近づけないでください

- 赤外線センサーの近くで、ストーブなどの熱器具を使用しないでください。変質・変形・火災などの原因となります。

■お客様による分解・修理・改造はしないでください

- 感電・火災のおそれがあります。

■電源ケーブルを傷つけないでください

- 感電・火災のおそれがあります。

■受信機や赤外線センサーに接続する電源ケーブルは、付属品を使用してください

- 付属品以外の電源ケーブルを使用すると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙・火災のおそれがあります。

■電源プラグに無理な力を加えないでください

- 感電・火災のおそれがあります。

■電源プラグを濡れた手で抜き差ししないでください

- ショートして感電・故障のおそれがあります。

■電源プラグにほこりを付着させないでください

- 電源プラグの表面にほこりが付着していると、水分を含んで電流が流れ、絶縁状態が悪くなり、火災のおそれがあります。
- 電源プラグの表面にほこりが付着している場合、乾いた布などでよく拭き取ってください。

4 安全に使用するための注意事項



■電池を内蔵する製品の取扱いには十分にご注意ください

- 電池の使いかたを誤ると、電池の破損や液漏れにより、火災の原因となるおそれがあります。下記の事項に注意してください。
 - ・赤外線センサーの電池は指定以外のものを使用しない
 - ・受信機の充電電池を分解しない
 - ・赤外線センサーを長時間使用しない場合には、赤外線センサーの電池を抜く
 - ・電池の「+」と「-」の向きを間違えて入れない
 - ・新旧の電池を混ぜて使用しない
 - ・電源ケーブルを使用する場合は、赤外線センサーの電池を抜く

■長期間使用しない場合には、安全のため電源ケーブルの電源プラグをコンセントから抜いてください

- 受信機内部の充電電池の破損や液漏れにより、火災の原因となるおそれがあります。

■台座の磁石の取扱いには十分にご注意ください

- 磁石の使いかたを誤ると、けがの原因となるおそれがあります。特に下記の事項に注意してください。
 - ・心臓ペースメーカーなどの体内植込型医療用電子機器を装着している方を近づけない
 - ・通信機器（携帯電話など）や電子機器（パソコン、DVDプレーヤー、時計など）に近づけない
 - ・磁気記録媒体（磁気カード、磁気テープなど）に近づけない
 - ・磁石表面のメッキに傷をつけない
- 磁石は強い吸着力があるのため、磁性体に近づいた際に手や指がはさまれ、けがをするおそれがあります。
- 使用環境が高温・多湿になると、磁石の吸着力が低下し、赤外線センサーが落下して、破損・変形するおそれがあります。
- 磁石表面の汚れや付着物は定期的に除去してください。鉄粉などのごみが付着すると吸着力が低下し、赤外線センサーが落下して、破損・変形するおそれがあります。

■ME 機器や心臓ペースメーカーと併用する際は、安全を確認してからご使用ください

- 赤外線センサーの故障や誤通知、通知が正しく行われぬおそれがあります。
- ME機器や心臓ペースメーカーが、正しく動作しないおそれがあります。



■40℃を超える環境で使用しないでください

- 製品の温度が上昇し、赤外線センサーが故障するおそれがあります。

■赤外線センサーを落としたり傷つけたりしないでください

- 破損・変形するおそれがあります。
- 赤外線センサーの電源がOFFになり、通知が正しく行われないおそれがあります。

■保管する際は、下記の事項に注意してください

- 重いものを載せたり、力がかかったりする状態で保管しないでください。赤外線センサーが破損・故障するおそれがあります。
- 赤外線センサーから電池を抜いて保管してください。電池の破損や液漏れにより、火災の原因となるおそれがあります。

■スプレータイプの殺虫剤を赤外線センサーに直接噴射しないでください

- 殺虫剤に含まれる溶剤によって、赤外線センサーが破損・変色・溶解するおそれがあります。また、破損・溶解した部分で思わぬけがをするおそれがあります。

■赤外線センサーは定期的に点検してください

- 使用の頻度や環境により劣化するおそれがあります。定期的に破損の有無などを点検してください。
(点検項目は29ページ参照)

■電源ケーブル接続時・接続後は、赤外線センサーのフォンジャックや受信機のUSBコネクタに無理な力を加えないでください

- 赤外線センサーや受信機、電源ケーブルが破損・故障するおそれがあります。

5 ご使用の前に

赤外線センサーの通知機能の注意点

赤外線センサーをご使用する際は、以下に注意してください。正しく検知できないおそれがあります。

- 本製品はあくまでも使用者の起き上がり、離床/端座位/徘徊を把握するための補助的なシステムであり、使用者の転落・転倒事故などを防ぐことを何ら保証するものではありません。使用者の動作や寝る位置などによっては、誤通知の可能性や検知できない場合があります。万一発生した事故などによる損害について、弊社は一切の責任を負い兼ねますのでご了承ください。
- 赤外線センサーを使用するときは、各種設定を正しく行ってください。正しく設定されないと誤通知の可能性があり、赤外線センサーを使用するときは、12～21ページの「**6**設定方法」を参照して、正しく通知することを確認してから使用してください。
- 通知しないなどの異常時は、赤外線センサーの使用を中止し、31ページの「**13**故障かな?と思ったら」を参照して、チェック・処置をしてください。
- 赤外線センサーは、弊社が指定する設置方法で使用してください。
- 赤外線センサーを設置した後は、点検を行ってください。(点検項目は29ページ参照)
- 受信機を下記のような場所で使用しないでください。
 - ・ 鉄製のドアやシャッターの近く
 - ・ 鉄製の大きな家具の近く
 - ・ 地下室やガレージ
 - ・ 鉄筋コンクリートの壁や鉄骨に多く囲まれている場所(階段やエレベーターなど)
- 赤外線センサーの前や上に布などの赤外線を遮るものを置かないでください。
- 洗濯物や布団などが赤外線センサーに被らないようにしてください。
- 振動がある環境で使用しないでください。
- 使用者の服装(音を吸収しやすい素材や形状)によってはセンサーが反応しづらい場合があります。
- 電子治療器(マイクロ波治療器、超音波治療器など)を使用するときは各医療機関や施設の案内および指示に従い、安全を確認してからご使用ください。
- 直射日光の当たる場所では使用しないでください。
- 赤外線センサーの電源LEDが緑点灯中は、電源をOFFにしないでください。

赤外線センサーについて

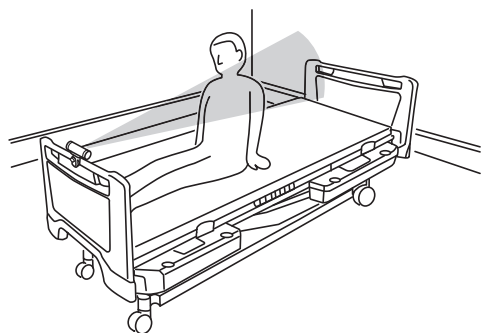
赤外線センサーを下記のような場所に設置すると、使用者の状態を検知し、受信機に通知することができます。

※下記は設置・設定の一例です。使用者や環境などにあわせて設置・設定を行ってください。

※赤外線センサーの検知距離の設定は15ページ、角度・向き調節方法は24ページを参照してください。

※設置後は25ページの「**8**設置後の点検方法」を参照して、動作点検・確認を行ってください。

<設置例：ベッドボードに設置>



ベッドのボードなどに設置することで、使用者がベッド上で起きあがった際に、受信機に通知します。

ユーザー像の一例	<ul style="list-style-type: none">・起きあがりのタイミングを知りたい方・転落リスクのある方・端座位保持ができない方・離床することが危険で早く知りたい方
----------	---

●使用する部品：赤外線センサー（本体）、台座、アタッチメント

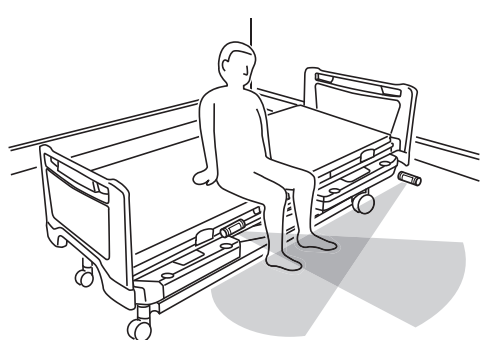
●設置位置：ベッドボードの上部

※使用者が起きあがった際の頭や肩の位置で赤外線センサーが反応するように設置

●推奨設定：

- ・向き：使用者が起きあがった際の頭や肩の位置にあわせる
- ・角度：30°
- ・距離：1.0mまたは1.5m

<設置例：ベッドの下に設置>



ベッドのフレームやゆかなどに設置することで、使用者が端座位をとったり、ベッドから立ちあがる際に、受信機に通知します。

ユーザー像の一例	<ul style="list-style-type: none">・転倒リスクのある方・徘徊リスクのある方
----------	---

●使用する部品：赤外線センサー（本体）、台座

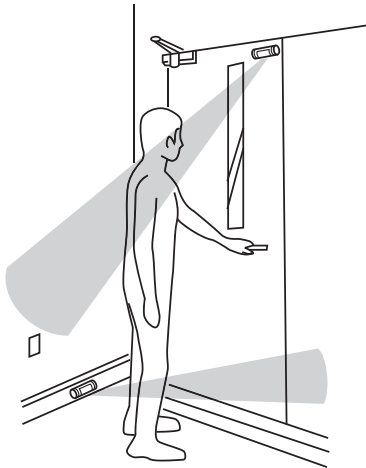
●設置位置：ベッドのフレーム、ゆか

●推奨設定：

- ・ベッドフレームの場合
角度：75°または90°
距離：0.5mまたは1.0m
- ・ゆかの場合
角度：0°または15°
距離：1.0mまたは1.5m

5 ご使用の前に

<設置例：出入口付近に設置>



出入口付近のゆかや扉に設置することで、使用者がベッドから完全に離床し部屋から移動する、または部屋に戻った際に、受信機に通知します。

ユーザー像の一例	<ul style="list-style-type: none">・ 離床には不安がないが、離床先（トイレなど）で転倒するなどの不測の事態を発生させる可能性がある方・ 離床には不安がないが、離床後の目的忘れ、迷子などの不安があり、付き添いを必要とする方・ 他の患者・入居者とのトラブルを発生させる可能性がある方
----------	--

●使用する部品：赤外線センサー（本体）、台座

●設置位置：ゆか、扉

●推奨設定：

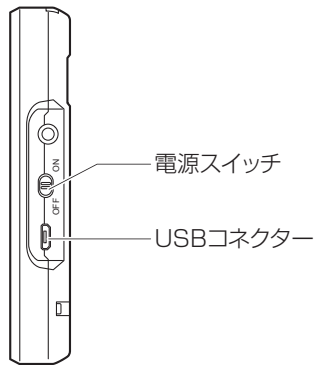
- ・ ゆかの場合
角度：0°または15°
距離：1.0mまたは1.5m
- ・ 扉の場合
角度：15°または30°
距離：1.0mまたは1.5m

6 設定方法

■受信機の各設定について

受信機の各ボタンを長押し（2秒）することで、下記の設定が行えます。

ボタン	設定内容	説明	記載ページ	
音量ボタン	音量設定	受信機の音量設定（OFF、小、大）を行う	13	
振動ボタン	振動設定	受信機の振動設定（OFF、ON）を行う	13	
設定ボタン	登録	受信機に赤外線センサーの新規登録を行う	17～18	
	変更	受信機に登録された赤外線センサーの設定変更を行う	19	
	削除	受信機に登録された赤外線センサーの削除を行う	20	
	パラメータ	チャンネル	受信機のチャンネルを設定する	13
		初期化	受信機を初期状態に戻す	21
	テスト	受信機と赤外線センサーの通信距離の確認を行う	21	



受信機横面

■受信機の準備

- ①USBケーブルをACアダプターに接続してください。
- ②USBケーブルを受信機のUSBコネクターに接続してください。
- ③ACアダプターの電源プラグをコンセントに差し込み、充電（5時間）をしてください。
※受信機の充電中は充電ランプが赤色に点灯し、充電が完了すると緑色に点灯します。
- ④受信機の電源スイッチをONにしてください。

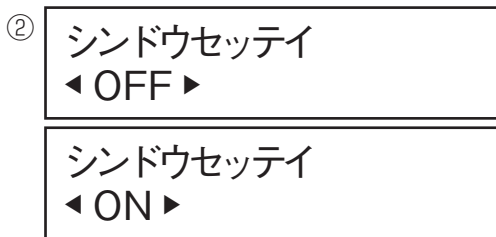


- 受信機の操作が20秒間行われない場合、ディスプレイを消灯します。
- 長時間使用しなかったとき、充電と使用を何度か繰り返すことにより、十分に充電される場合があります。
- 受信機は電源ケーブルを接続したままでもお使いいただけます。

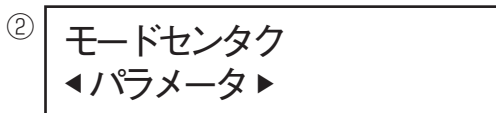
6 設定方法



音量設定画面



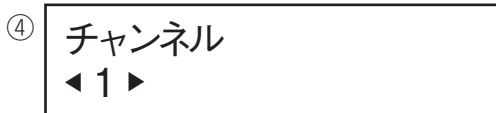
振動設定画面



モード選択画面



パラメータ設定画面



チャンネル設定画面

■受信機の通知設定

●音量の設定

- ①受信機の音量ボタンを長押し（2秒）して、音量設定画面にしてください。
- ②音量ボタン／振動ボタンを押し、音量（OFF、◻）（小）、◻◻）（大）を選択して設定ボタンを押してください。
- ③画面が待受画面に移行し、音量の設定が完了します。

●振動の設定

- ①受信機の振動ボタンを長押し（2秒）して、振動設定画面にしてください。
- ②音量ボタン／振動ボタンを押し、振動（OFF、ON）を選択して設定ボタンを押してください。
- ③画面が待受画面に移行し、振動の設定が完了します。

■受信機のチャンネル設定

使用する受信機と赤外線センサーはチャンネル設定をあわせてください。赤外線センサーのチャンネル設定は15ページを参照してください。

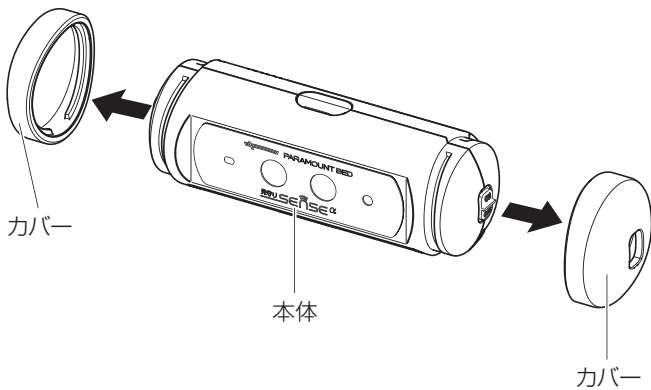
●受信機のチャンネル設定

- ①受信機の設定ボタンを長押し（2秒）して、モード選択画面にしてください。
- ②音量ボタン／振動ボタンを押し、「パラメータ」を選択して設定ボタンを押してください。
- ③画面が「パラメータ」となっていることを確認した後、音量ボタン／振動ボタンを押し、「チャンネル」を選択して設定ボタンを押してください。
- ④チャンネル設定は「1」～「3」の番号で設定します。
音量ボタン／振動ボタンを押し、一緒に使用する赤外線センサーと同じチャンネル番号を選択して設定ボタンを押してください。
- ⑤画面が待受画面に移行し、受信機のチャンネル設定が完了します。

■赤外線センサーの各設定について

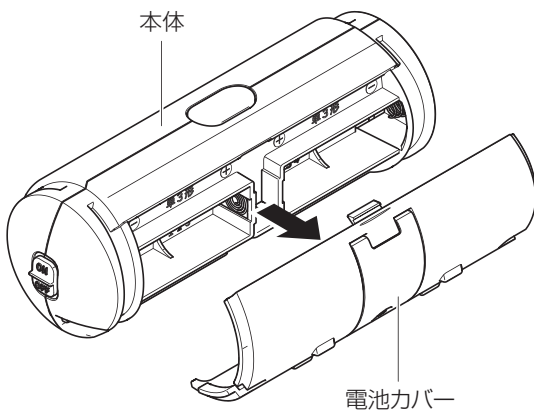
赤外線センサーの各切換スイッチを切換えることで、下記の設定が行えます。

切換スイッチ	設定内容	説明	記載ページ
設定1スイッチ (照明切換)	1：照明ON	照明LEDをON（20秒）に設定する	15
	2：照明OFF	照明LEDをOFFに設定する	
設定2スイッチ (検知距離切換)	1：0.5 m	センサーの検知距離を0.5 mに設定する	
	2：1.0 m	センサーの検知距離を1.0 mに設定する	
	3：1.5 m	センサーの検知距離を1.5 mに設定する	
設定3スイッチ (チャンネル切換)	1：チャンネル1	チャンネルを1に設定する	
	2：チャンネル2	チャンネルを2に設定する	
	3：チャンネル3	チャンネルを3に設定する	
	4：使用しない	使用しません	



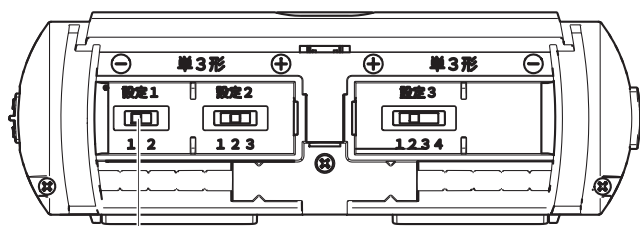
■電池カバーの外しかた

①左右のカバーを本体から取外してください。

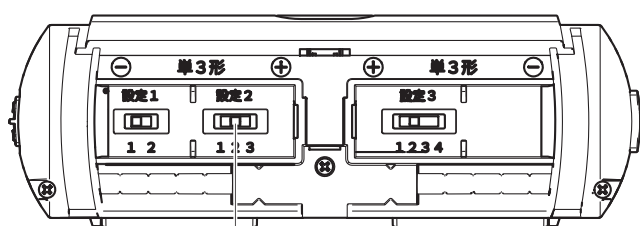


②電池カバーを本体から取外してください。

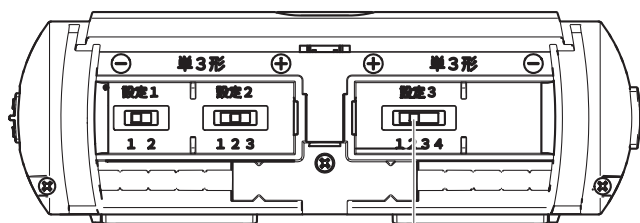
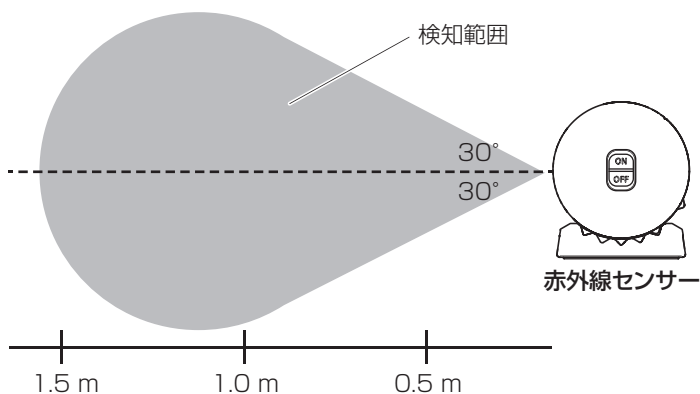
6 設定方法



設定1スイッチ
(照明切換)



設定2スイッチ
(検知距離切換)



設定3スイッチ
(チャンネル切換)

■照明の設定

赤外線センサーが対象者を検知すると同時に、照明LEDを20秒間点灯します。(初期設定：照明ON)
本体の設定1スイッチで照明LEDのON / OFFを設定します。

- 1：照明ON
- 2：照明OFF



赤外線センサーをベッドボードに設置する場合は照明OFFに設定してください。

■検知距離の設定

本体の設定2スイッチでセンサーの検知距離を設定します。(初期設定：1.5 m)

設定できる検知距離は以下になります。

- 1：0.5 m
- 2：1.0 m
- 3：1.5 m



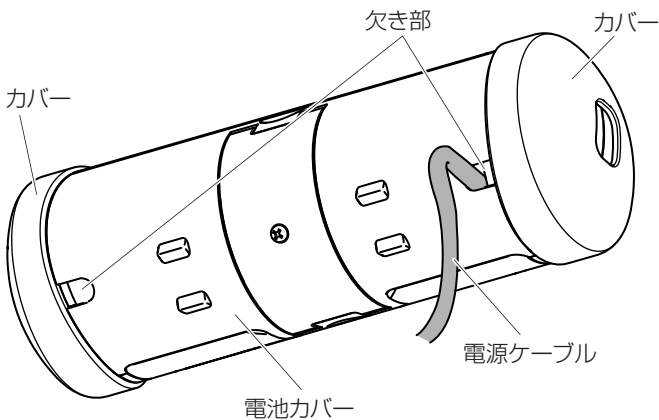
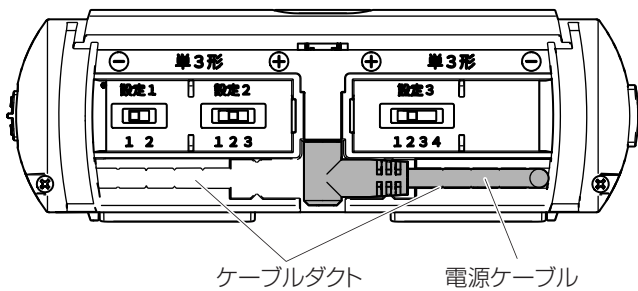
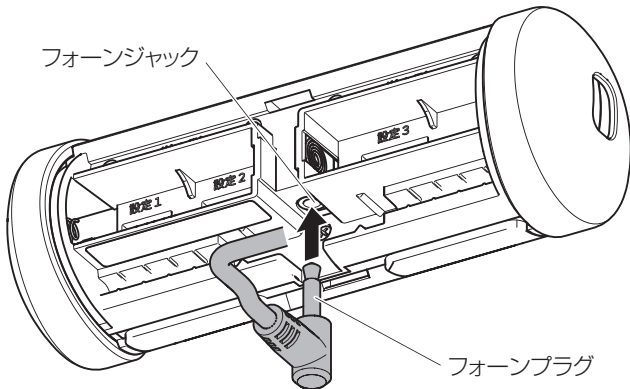
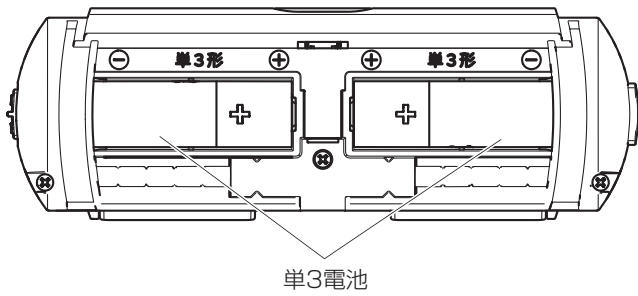
赤外線センサーを設置する場所や環境などで検知できる範囲が変わる場合があります。

■赤外線センサーのチャンネル設定

一緒に使用する受信機と同じチャンネル番号を選択してください。(初期設定：チャンネル1)

本体の設定3スイッチで「1」～「3」の番号を設定します。

- 1：チャンネル1
- 2：チャンネル2
- 3：チャンネル3
- 4：使用しません



■赤外線センサーの準備

赤外線センサーは、電池または付属の電源ケーブルで使用できます。

●電池で使用する場合

- ①電池カバーを本体から取外してください。(14ページ参照)
- ②電池の極性に注意して、本体の電池ホルダーに単3電池(2本)を入れてください。
- ③本体に電池カバーと左右のカバーを取付けてください。



電池は本製品に付属されていませんので、ご自身でご用意ください。

●電源ケーブルで使用する場合

- ①電池カバーを本体から取外してください。(14ページ参照)
- ②電源ケーブルをACアダプターに接続してください。
- ③電源ケーブルのフォンプラグを本体のフォンジャックに差し込んでください。
- ④コンセントの位置にあわせて電源ケーブルを出す方向を決め、本体にあるケーブルダクトに電源ケーブルをしっかりとめ込んでください。

- ⑤電源ケーブルを電池カバーの欠き部に通し、本体に電池カバーを取付けてください。
- ⑥本体の左右にカバーを取付けてください。



電池カバーを取付ける際は、電源ケーブルをはさまないようにしてください。



けい
警告

- 電源ケーブルを使用する場合は、足などに引っ掛けないように注意してください。転倒してけがをしたり、測定が正しく行われないうおそれがあります。
- 電源ケーブルを使用した場合は、停電などで電源を供給できなくなると、検知できません。停電などで電源を供給できない場合は電池を使用してください。

6 設定方法

■赤外線センサーの登録・変更・削除について



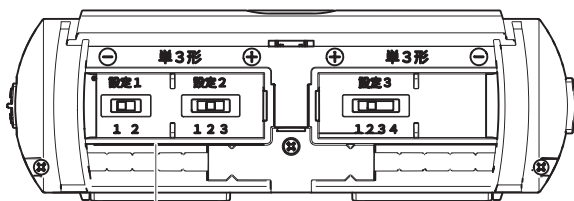
- 受信機には赤外線センサーを80台まで登録できます。
- 赤外線センサーごとに、通知時に受信機に表示される文字を、登録・編集することができます。
- 赤外線センサーの登録・変更・削除を行う場合は、受信機と赤外線センサーが近くにある状態（50cm以内）で行ってください。
- 受信機の操作が20秒間行われない場合、ディスプレイを消灯します。設定途中の内容は登録されませんのでご注意ください。
- 赤外線センサーの登録・変更・削除中に通知があった場合は、設定変更を中断し通知を優先します。設定途中の内容は登録されませんのでご注意ください。
- 赤外線センサーの登録・変更・削除中に受信機の停止ボタンを押すと、設定操作をキャンセルし、待受画面に戻ります。
- 受信機とパソコンをUSBケーブルで接続し、専用ソフトウェア（NN-C300）を使用することで、パソコンから赤外線センサーの登録・変更・削除を行えます。専用ソフトウェア（NN-C300）のダウンロードおよび使用方法につきましては、弊社ホームページ（<https://www.paramount.co.jp/sense/download>）をご覧ください。＊通信料はお客様のご負担となります。



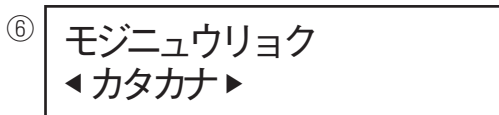
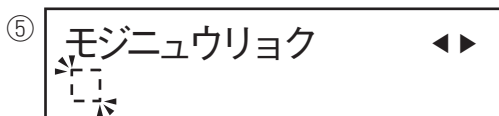
モード選択画面



赤外線センサーシリアルNo.表示画面



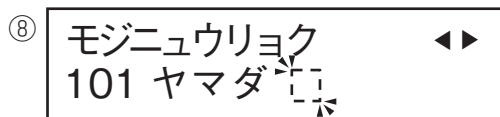
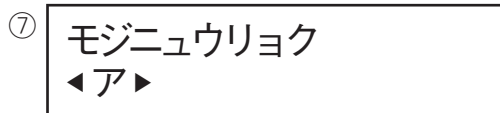
製品表示ラベル



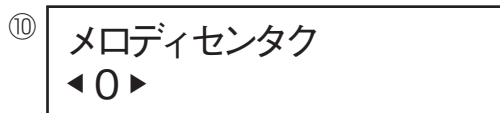
文字入力画面

■赤外線センサーの登録

- ①受信機の設定ボタンを長押し（2秒）して、モード選択画面にしてください。
- ②受信機の音量ボタン／振動ボタンを押し、「トウロク」を選択して設定ボタンを押してください。
- ③受信機のディスプレイが「トウロクチュウ」となっていることを確認した後、登録したい赤外線センサーの一時停止ボタンを押しながら、電源スイッチをONにして、テストモードにしてください。
- ④受信機が赤外線センサーからの信号を受取ると、赤外線センサーのシリアルNo.が表示されますので、登録したい赤外線センサーのシリアルNo.であることを確認して、設定ボタンを押してください。
※既に登録されている赤外線センサーを登録しようとした場合、ディスプレイに「トウロクズミ」と表示されます。
※赤外線センサーのシリアルNo.は、製品表示ラベルに記載されています。
- ⑤受信機のディスプレイが「モジニューリョク」となっていることを確認した後、音量ボタン／振動ボタンを押して文字を入力したい場所を選択し、設定ボタンを押してください。
- ⑥受信機の音量ボタン／振動ボタンを押し、「カタカナ」「キゴウ」「スウジ」「サクジョ」「シュウリョウ」を選択して設定ボタンを押してください。
カタカナ : 「ア」から「ン」までの文字を入力します。
キゴウ : 「a」から「z」、「A」から「Z」までの文字を入力します。
スウジ : 「0」から「9」までの文字を入力します。
サクジョ : 選択した場所の文字を削除します。
シュウリョウ : 文字入力を終了します。



文字入力画面



メロディ選択画面

番号	曲名
0	カノン
1	きらきら星
2	ノクターン
3	ボレロ
4	メヌエット
5	愛の挨拶
6	愛の夢
7	乾杯の歌
8	電子音1 (ピピピピッ)
9	電子音2 (ピンポンパンポン)

⑦受信機の音量ボタン／振動ボタンを押し、入力したい文字を選択して設定ボタンを押してください。

⑧複数の文字を入力する場合は、⑤～⑦を繰り返し行ってください。

⑨文字入力終了したら、「シュウリョウ」を選択し、設定ボタンを押してください。

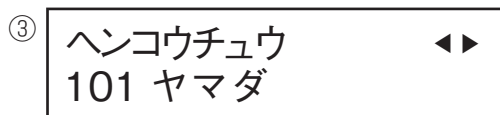
⑩受信機のディスプレイが「メロディセンタク」となっていることを確認した後、音量ボタン／振動ボタンを押して鳴動させるメロディを選択し、設定ボタンを押してください。

⑪受信機のディスプレイが待受画面に移行し、赤外線センサーの登録が完了します。

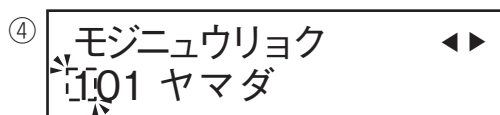
6 設定方法



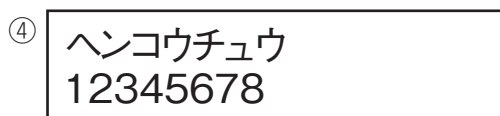
モード選択画面



変更画面



文字入力画面



赤外線センサーシリアルNo.表示画面

■赤外線センサーの通知表示・メロディ変更

●受信機のみで変更を行う場合

- ①受信機の設定ボタンを長押し（2秒）して、モード選択画面にしてください。
- ②受信機の音量ボタン／振動ボタンを押し、「ヘンコウ」を選択して設定ボタンを押ししてください。

- ③受信機のディスプレイが「ヘンコウチュウ」となっていることを確認した後、受信機の音量ボタン／振動ボタンを押し、変更したい赤外線センサーを選択し、設定ボタンを押しください。

※変更画面には、「■赤外線センサーの登録」（17ページ参照）で入力した文字が表示されます。

- ④「■赤外線センサーの登録」の⑤～⑩の手順に従って、通知表示・メロディの変更を行ってください。
- ⑤受信機のディスプレイが待受画面に移行し、赤外線センサーの通知表示・メロディ変更が完了します。

●受信機と赤外線センサーで変更を行う場合

- ①受信機の設定ボタンを長押し（2秒）して、モード選択画面にしてください。
- ②受信機の音量ボタン／振動ボタンを押し、「ヘンコウ」を選択して設定ボタンを押しください。
- ③受信機のディスプレイが「ヘンコウチュウ」となっていることを確認した後、変更したい赤外線センサーの一時停止ボタンを押しながら、電源スイッチをONにしてテストモードにしてください。

- ④受信機が赤外線センサーからの信号を受取ると、赤外線センサーのシリアルNo.が表示されますので、変更したい赤外線センサーのシリアルNo.であることを確認して、設定ボタンを押しください。

※登録されていない赤外線センサーを変更しようとした場合、ディスプレイに「ミトウロク」と表示されます。

- ⑤「■赤外線センサーの登録」（17ページ参照）の⑤～⑩の手順に従って、通知表示・メロディの変更を行ってください。
- ⑥受信機のディスプレイが待受画面に移行し、赤外線センサーの通知表示・メロディ変更が完了します。

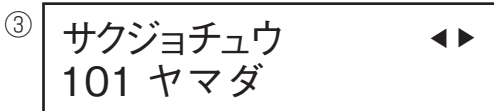
■赤外線センサーの登録削除

●受信機のみで登録削除を行う場合

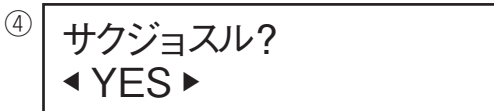
- ①受信機の設定ボタンを長押し（2秒）して、モード選択画面にしてください。
- ②受信機の音量ボタン／振動ボタンを押し、「サクジョ」を選択して設定ボタンを押ししてください。



モード選択画面



削除画面



削除確認画面

- ③受信機のディスプレイが「サクジョチュウ」となっていることを確認した後、受信機の音量ボタン／振動ボタンを押し、登録削除したい赤外線センサーを選択し、設定ボタンを押ししてください。

※削除画面には、「■赤外線センサーの登録」（17ページ参照）で入力した文字が表示されます。

- ④「サクジョスル?」の確認メッセージが表示されるので、受信機の音量ボタン／振動ボタンを押し、「YES」を選択して設定ボタンを押ししてください。
- ⑤受信機のディスプレイが待受画面に移行し、赤外線センサーの登録削除が完了します。

●受信機と赤外線センサーで登録削除を行う場合

- ①受信機の設定ボタンを長押し（2秒）して、モード選択画面にしてください。
- ②受信機の音量ボタン／振動ボタンを押し、「サクジョ」を選択して設定ボタンを押ししてください。



赤外線センサーシリアルNo.表示画面

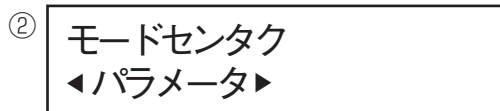
- ③受信機のディスプレイが「サクジョチュウ」となっていることを確認した後、登録削除したい赤外線センサーの一時停止ボタンを押しながら、電源スイッチをONにして、テストモードにしてください。

- ④受信機が赤外線センサーからの信号を受取ると、赤外線センサーのシリアルNo.が表示されますので、登録削除したい赤外線センサーのシリアルNo.であることを確認して、設定ボタンを押ししてください。

※登録されていない赤外線センサーを削除しようとした場合、ディスプレイに「ミトウロク」と表示されます。

- ⑤「サクジョスル?」の確認メッセージが表示されるので、受信機の音量ボタン／振動ボタンを押し、「YES」を選択して設定ボタンを押ししてください。
- ⑥受信機のディスプレイが待受画面に移行し、赤外線センサーの登録削除が完了します。

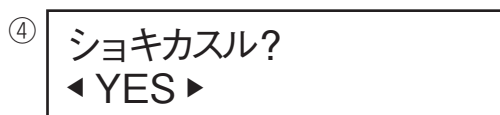
6 設定方法



モード選択画面



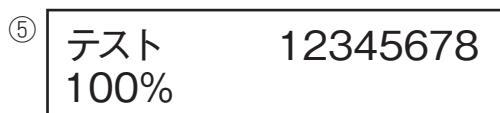
パラメータ設定画面



受信機初期化画面



モード選択画面



通信距離確認画面

■受信機の初期化

受信機に登録されている赤外線センサーと履歴を初期化します。

- ① 受信機の設定ボタンを長押し（2秒）して、モード選択画面にしてください。
- ② 受信機の音量ボタン／振動ボタンを押し、「パラメータ」を選択して設定ボタンを押ししてください。
- ③ 受信機のディスプレイが「パラメータ」となっていることを確認した後、受信機の音量ボタン／振動ボタンを押し、「ショック」を選択して設定ボタンを押ししてください。
- ④ 「ショックスル?」の確認メッセージが表示されるので、受信機の音量ボタン／振動ボタンを押し、「YES」を選択して設定ボタンを押ししてください。
- ⑤ 受信機のディスプレイが待受画面に移行し、受信機の初期化が完了します。

■受信機・赤外線センサーの通信距離確認

- ① 受信機の設定ボタンを長押し（2秒）して、モード選択画面にしてください。
- ② 受信機の音量ボタン／振動ボタンを押し、「テスト」を選択して設定ボタンを押ししてください。
- ③ 受信機のディスプレイが「テスト」となっていることを確認した後、通信距離の確認を行いたい赤外線センサーの一時停止ボタンを押しながら、電源スイッチをONにして、テストモードにしてください。
- ④ 赤外線センサーを設置したい位置に置いてください。
- ⑤ 受信機が赤外線センサーからの信号を受取ると、受信機のディスプレイに通信強度（10%～100%）が表示されます。
※通信強度は10%に近づくほど弱くなり、100%に近づくほど強くなります。
- ⑥ 受信機のディスプレイに通信強度が表示されている間は赤外線センサーとの通信が行われています。赤外線センサーからの信号を受取れなくなると、通信強度の表示は消えます。
- ⑦ 通信距離確認を終了する場合は、受信機の停止ボタンを押ししてください。受信機のディスプレイが待受画面に移行し、通信距離確認が終了します。



赤外線センサーのテストモードは、電源をOFFにするか、10分後に解除されます。

7 設置方法

■赤外線センサーの設置



電源ケーブルは正しく配線を行ってください。電源ケーブルが破損して、感電・火災の原因となったり、電源ケーブルに足が引っ掛かり転倒して、けがをしたりするおそれがあります。また、測定が正しく行われないおそれがあります。

- ベッドの可動部や扉などで電源ケーブルをはさまないようにしてください。
- 電源ケーブルに足が引っ掛からない位置に配線してください。
- 電源ケーブルを引っ張ったり、無理な力を加えたりしないようにしてください。

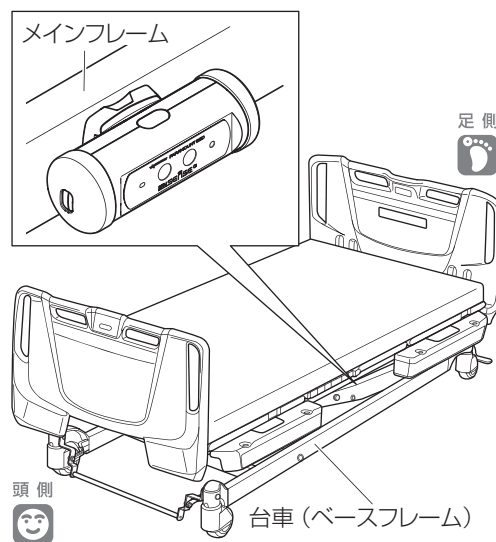


●ベッドのフレームに取付ける際は、台車（ベースフレーム）には取付けしないでください。下記の事項により、破損・変形のおそれがあります。メインフレームに取付けてください。

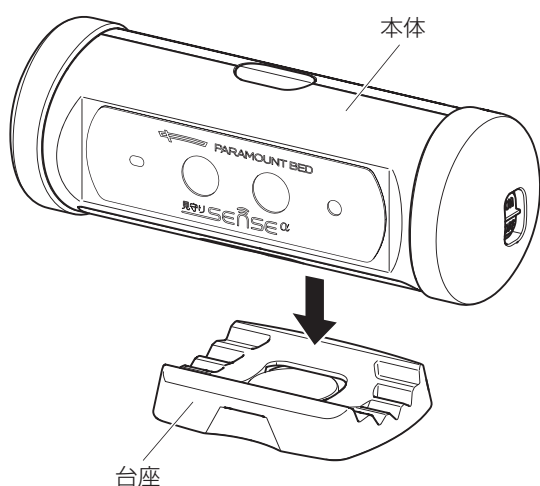
- ベッドをさげた際に、台車（ベースフレーム）とメインフレームの間にはさまれる
- 使用者が端座位をとった際に、足にぶつかる
- 車いすがぶつかる

●ボードに取付けた場合、ボードの伝え歩きに注意してください。赤外線センサーが落下し、破損・変形するおそれがあります。

●ゆかに設置した場合、赤外線センサーを蹴飛ばしたり、踏みつけないように注意してください。破損・変形するおそれがあります。



<設置例：ゆかや棚に設置>



●ゆかや棚に設置する場合

赤外線センサーをゆかや棚などに設置する場合は、本体に台座を取付け、平らな面に置いてください。

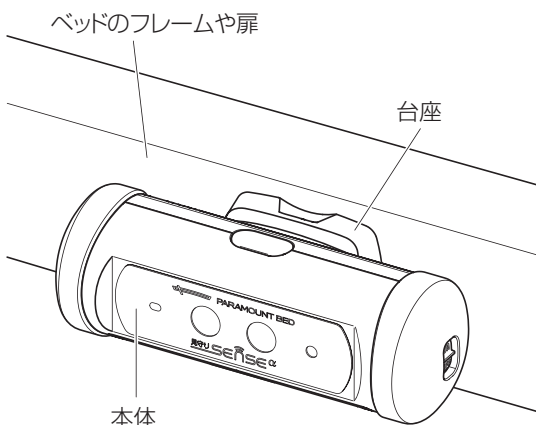
赤外線センサーを設置した後、本体の角度を調節してください。（24ページ参照）



赤外線センサーをゆかや棚などに設置する場合は、台座を使用してください。

7 設置方法

<設置例：ベッドのフレームや扉に設置>



●ベッドのフレームや扉に設置する場合

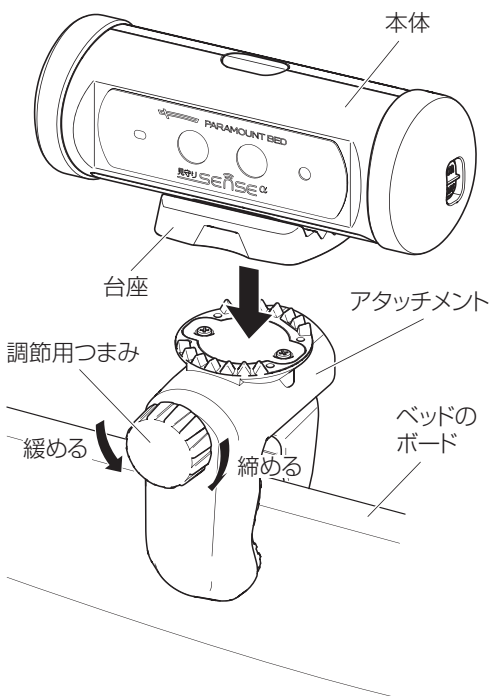
赤外線センサーをベッドのフレームや扉などに設置する場合は、本体に台座を取付け、台座内の磁石を利用して、平らな面に貼り付けてください。

赤外線センサーを設置した後、本体の角度を調節してください。(24ページ参照)



- 磁石で貼り付けることができない木製や樹脂製の扉や壁には、赤外線センサーを設置できません。
- 対象者の動線に赤外線センサーの検知範囲が確実に入るように設置してください。
- 赤外線センサーの設置位置により、検知範囲がサイドレール受などで遮られ正しく検知できないおそれがあります。
- サイドバンパーまたはオプションのサイドレール受が付いているなどのベッドには使用できません。

<設置例：ベッドのボードに設置>



●手すりやボードに設置する場合

赤外線センサーを手すりやベッドのヘッドボード・フットボードなどに設置する場合は、アタッチメントを使用してください。

- ①調節用つまみを反時計回りに回して、アタッチメントを緩めてください。
- ②アタッチメントを設置したい場所に差込み、はさんでください。
- ③調節用つまみを時計回りに回して、アタッチメントを固定してください。
- ④アタッチメントに本体と台座を取付けてください。取付後、本体の角度・向きを調節してください。(24ページ参照)

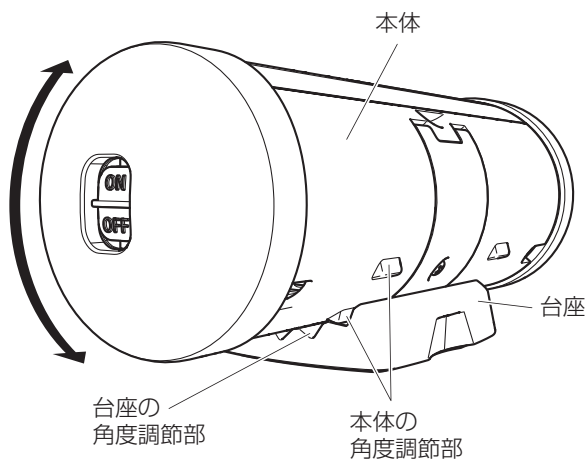


ちゅうい
注意

- 調節用つまみを締めすぎないでください。手すりやボードを傷つけたり、アタッチメントが破損・変形するおそれがあります。
- アタッチメントを固定するとき指をはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。




- 厚さが1～4cmのボードのみ設置できます。
- 取外しかたは、設置と逆の手順で行ってください。
- ボードの警告ラベルや注意ラベルが隠れないように設置してください。
- ロータイプのフットボードは対象外です。



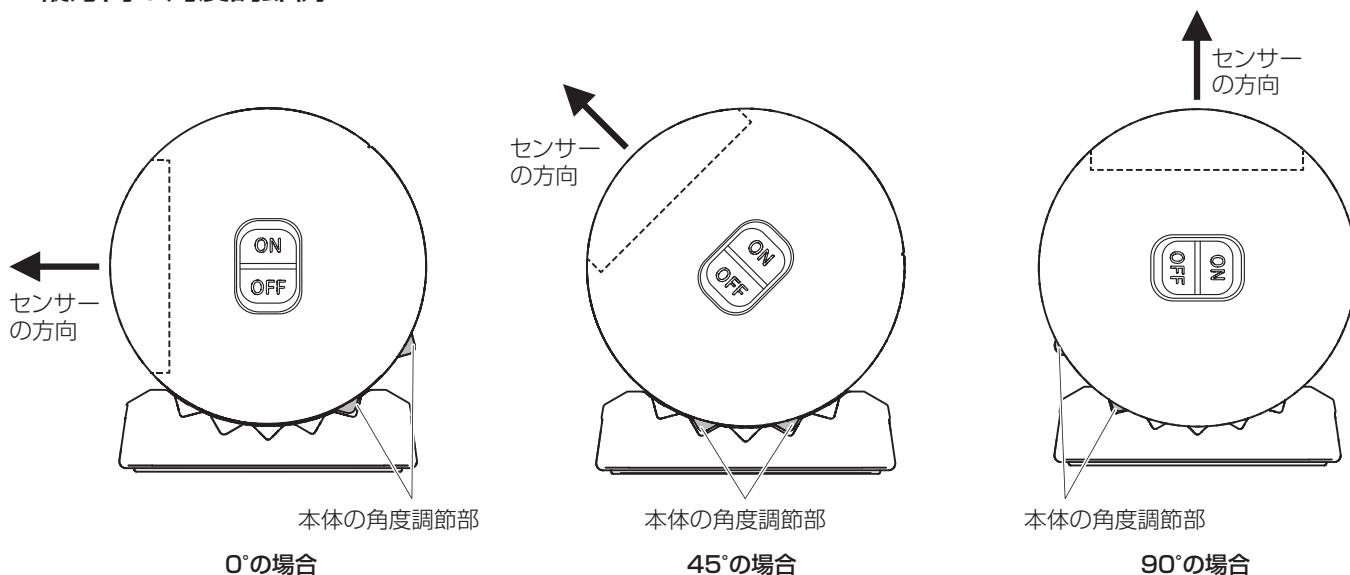
■角度調節

本体の縦方向の角度を調節できます。
※ 調節範囲：0～90°（15°×6段階）

本体と台座にある角度調節部の凹凸部をあわせ、角度を調節してください。

 注意 <small>ちゅうい</small>	<p>本体の凸部と台座の凹部はしっかり掛かった状態にしてください。不意に本体の角度が変わって検知が正しく行われなかったり、落下して破損したりするおそれがあります。</p>
--	---

<縦方向の角度調節例>

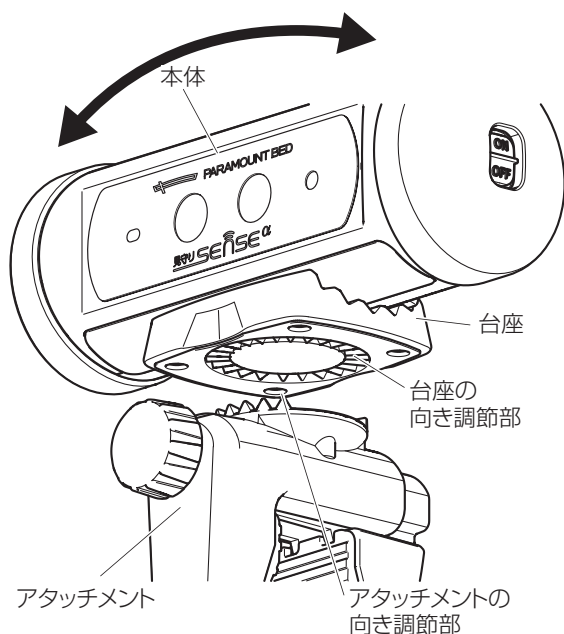



■向き調節（アタッチメント使用時）

アタッチメントを使用して赤外線センサーを設置した場合は、本体の横方向の向きを調節できます。

※ 調節範囲：360°（15°×24段階）

アタッチメントと台座にある向き調節部の凹凸部をあわせ、向きを調節してください。



 注意 <small>ちゅうい</small>	<p>アタッチメントの凸部と台座の凹部はしっかり掛かった状態にしてください。不意に本体の向きが変わって検知が正しく行われなかったり、落下して破損したりするおそれがあります。</p>
--	--



アタッチメントを使用しない場合は、赤外線センサー自体を動かして、向きを調節してください。

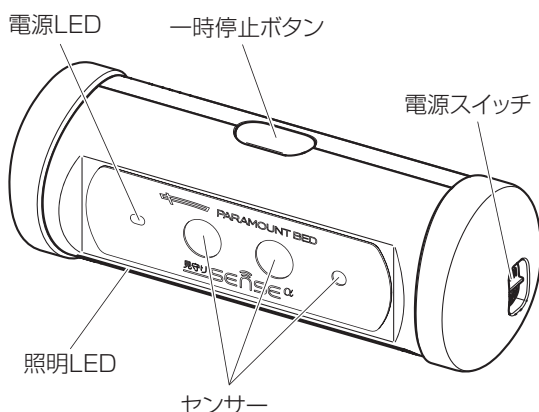
8 設置後の点検方法



- 赤外線センサーを設置した後は、点検を行ってください。通知が正しく行われな
いおそれがあります。
- 点検作業中に異常が生じた場合には、すぐに赤外線センサーの使用を中止し、パ
ラテクノコールセンター（33ページ参照）までご連絡ください。

赤外線センサーの設置が完了したら、ご使用になる前に下記の点検表に従って動作点検を行ってください。

点検項目	チェック	
①周辺温度の確認 ・本体の周辺温度は5～40℃ですか？	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ →32ページ
②赤外線センサーの設定・準備 ・受信機に赤外線センサーを登録しましたか？ ・照明LEDのON/OFFを設定しましたか？ ・検知距離を設定しましたか？ ・チャンネルを設定しましたか？ ・赤外線センサーに電池を入れましたか？または付属の電源ケーブルを接続しましたか？	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ →12～21 ページ
③赤外線センサーの設置 ・人やベッドが移動した際にぶつからない位置に設置していますか？ ・ベッドや扉などにはさまれない位置に設置していますか？ ・ベッドの可動部やベッド上のマットレスに接触しない位置に設置していますか？ ・赤外線センサーの前にもものなどが置かれていませんか？ ・布団などの布が被っていませんか？ ・検知したい方向に正しく設置していますか？ ・アタッチメントを使用した場合 ベッドのボードなどにしっかりと固定されていますか？ ・電源ケーブルを使用した場合 人やベッドなどに引っ掛からないように配線していますか？	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ →22～24 ページ
④動作の確認 ・センサーが正しく動作していますか？	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ →下記参照



■センサーの動作確認

実際に使用する前に、センサーが正しく動作していることを必ず確認してください。

- ①一時停止ボタンを押しながら、電源スイッチをONにしてください。電源LEDが緑点滅（0.5秒間隔）し、テストモードの状態になります。
- ②センサーの前に手をかざしてください。センサーが正しく動作している場合は、照明LEDが点灯します。
- ③テストモード解除後、センサーの前に手をかざし、受信機のメロディが鳴る・振動することを確認してください。



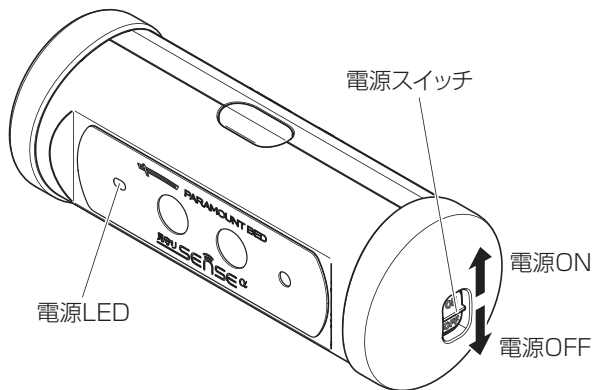
- テストモードでセンサーの動作確認を行う場合は、照明LEDがOFFに設定されていても点灯します。
- テストモードは、電源をOFFにするか、10分後に解除されます。

9 使用方法

■ 赤外線センサーの使いかた



赤外線センサーを使用する前には、29ページの「日常の点検とお手入れ」の点検を必ず実施してください。



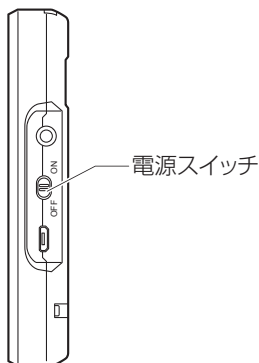
赤外線センサー

【使用の手順】

- ① 赤外線センサーの電源スイッチをONにしてください。
電源をONにすると、電源LEDが緑点灯します。



- 電源LEDが緑点灯している間は通知できません。電源LEDが消灯するまで、赤外線センサーの検知範囲から3秒以上離れてください。電源LEDが消灯すると通知できます。
- 一度動作を検知してから10秒間、次の動作は検知されません。



受信機横面

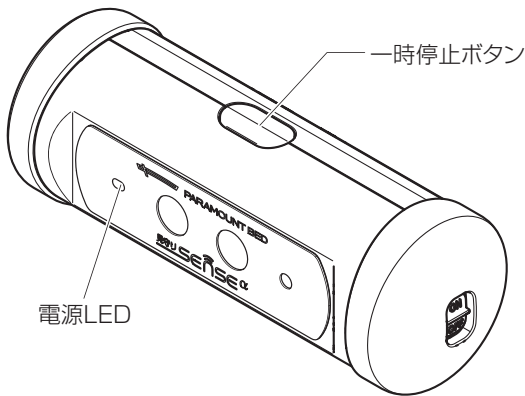
- ② 受信機の電源スイッチをONにしてください。
- ③ 使用者の動きに応じて赤外線センサーから検知信号を送信し、受信機に通知します。



通知画面

- ④ 受信機が通知を受けて、登録した文字をディスプレイに表示し、メロディ／振動で通知します。
※メロディ／振動での通知は1分間継続します。1分経過後は、メロディ／振動は停止し、ディスプレイが点滅し続けます。
- ⑤ 受信機の停止ボタンを押すと、ディスプレイの表示が消え、メロディ／振動が停止します。停止ボタンを押した後は、待受画面に戻ります。

9 使用方法



0 フンマエ 01
101 ヤマダ

履歴確認画面

デンチギレ
101 ヤマダ

お知らせマーク

マチウケチュウ

待受画面

ジュウデン
シテクダサイ

要充電画面

【センサーの一時停止】

赤外線センサーの一時停止ボタンを押すと、電源LEDが緑点滅（1秒間隔）し、3分間センサーの動作が一時停止状態になります。

※一時停止ボタンを再度押すか、3分経つと、一時停止状態が解除され、電源LEDが消灯します。



- 赤外線センサーを一時停止している間は通知しません。
- 照明LED点灯中に一時停止を押した場合は、照明LEDが消灯します。

【受信機の履歴の確認】

受信機が待受画面の状態、音量ボタン／振動ボタンを押すと通知履歴が確認できます。

※新しい通知から20件分の履歴を確認することができます。

※履歴の表示は、「■赤外線センサーの登録」（17ページ参照）で入力した文字が表示されます。

【赤外線センサーの電池残量低下のお知らせ】

赤外線センサーの電池残量が低下している場合、受信機に電池残量低下のお知らせを表示します。

その際は、赤外線センサーの電池がなくなる前に、電池の交換を行ってください。（16ページ参照）

※電池残量低下のお知らせは、電池交換が行われるまで表示します。

※赤外線センサーの電池残量が低下すると、電源LEDが橙点灯します。

【受信機の充電残量低下のお知らせ】

受信機の充電残量が低下している場合、待受画面で充電残量低下のお知らせマークを表示します。

充電残量がさらに低下し、充電が必要になった場合には「ジュウデンシテクダサイ」と表示します。

充電残量低下のお知らせマークまたは、「ジュウデンシテクダサイ」と表示された場合は、電源ケーブルを用いて、受信機の充電を行ってください。（12ページ参照）



- 赤外線センサーの電池や受信機の充電電池は、使用環境や使用頻度によって、寿命に差が出ることがあります。
- 長時間使用しなかったとき、充電と使用を何度か繰り返すことにより、十分に充電される場合があります。

10 オプションについて



- オプションは正しい組合せを確認した上でご使用ください。誤った組合せで使用すると、思わぬけがや故障の原因となります。
- 本書記載のオプション以外は使用しないでください。通知が正しく行われぬおそれがあります。



仕様変更などにより、この取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。ご不明な点は、販売店または直接弊社までお問い合わせください。

オプション一覧

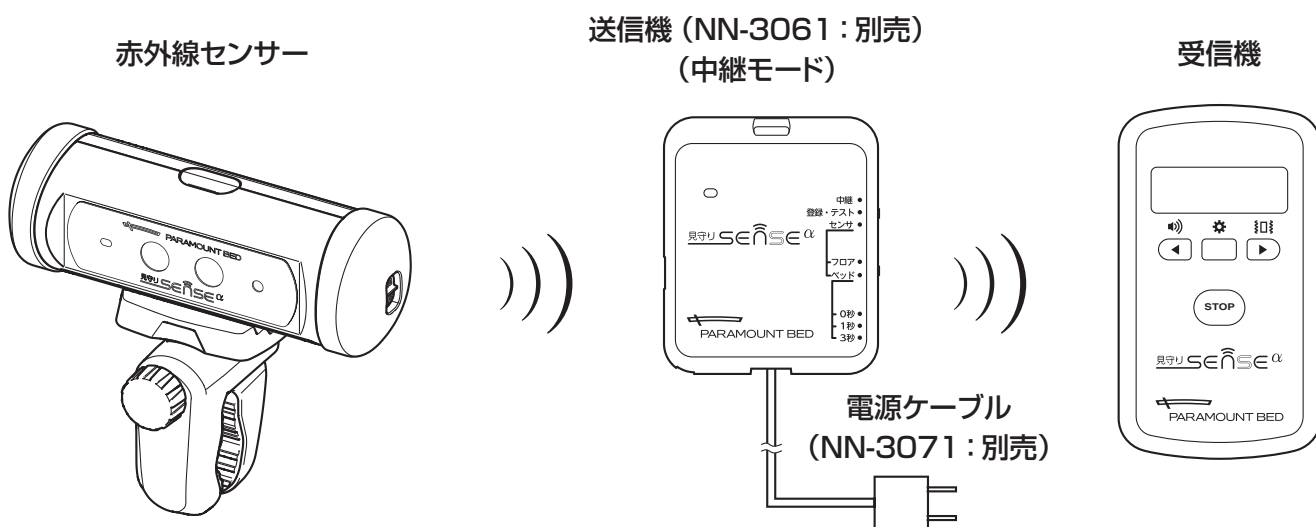
品名	品番	内容物
ベッドシート	NN-3011	ベッドシート
フロアシート	NN-3021	フロアシート
赤外線センサー	NN-3031	赤外線センサー
受信機	NN-3041	受信機
赤外線センサー用電源ケーブル	NN-3051	赤外線センサー用電源ケーブル
送信機	NN-3061	送信機
電源ケーブル	NN-3071	ACアダプター、USBケーブル
送信機（電源ケーブル付）	NN-3081	送信機、ACアダプター、USBケーブル
ベッドシート（送信機付）	NN-3111	ベッドシート、送信機
フロアシート（送信機付）	NN-3211	フロアシート、送信機
赤外線センサー（電源ケーブル付）	NN-3311	赤外線センサー、赤外線センサー用電源ケーブル

※受信機1台につき送信機と赤外線センサーを合計80台まで登録できます。

■送信機（NN-3061：別売）の中継モードについて

送信機（NN-3061：別売）を中継モードにして受信機と赤外線センサーの間に設置することで、通信の中継が可能になり、受信機をご使用いただける範囲を拡大することができます。

送信機の中継モードについては、受信機（別売：NN-3041）に付属されている取扱説明書をご覧ください。



11 日常の点検とお手入れ

■点検

<使用者による保守点検事項>

赤外線センサーを使用する前に、下記の点検項目を必ず毎日チェックして、異常のないことを確認してください。異常が認められた場合は、パラテクノコールセンター（33ページ参照）までお問い合わせください。

点検項目	
設置条件に従い、正しい位置に設置されていること	※22～24ページ参照
検知と通知が正しく機能していること	※25ページ参照
赤外線センサー（台座・アタッチメント・電源ケーブル含む）が破損・変形していないこと	※3ページ参照

■日常のお手入れ

<汚れの落としかた>

- ①水で薄めた中性洗剤にひたした布を、よくしぼって拭いてください。
- ②水でひたした布をよくしぼって、残った洗剤分を拭き取ってください。
- ③乾いた布で残った水分を拭き取ってください。

<消毒のしかた>

下記の消毒剤を、指定の濃度、消毒剤の取扱説明書などの指示に従ってご使用ください。

消毒剤	指定の濃度
消毒用エタノール	76.9～81.4%
塩化ベンザルコニウム（オスバンなど）	0.05～0.2%
塩化ベンゼトニウム（ハイアミンなど）	0.05～0.2%
グルコン酸クロルヘキシジン（ヒジテンなど）	0.05%
次亜塩素酸ナトリウム（ミルトンなど）	0.02～0.05%



●オゾン殺菌器、オートクレーブ滅菌器などには対応できません。



- 揮発性のもの（シンナー、ベンジン、ガソリンなど）やクレゾールは使用しないでください。変色・変質するおそれがあります。
- 消毒剤を使用する場合は、指定以外の薬品を使用しないでください。破損・変質のおそれがあります。
- 中性洗剤を使用した場合は、その後水拭きをしてください。水拭きをしないと樹脂の部分が割れるおそれがあります。



12 長期保管と廃棄について

■長期保管について

- 直射日光の当たる場所・ほこりの多い場所での保管は避けてください。
- 温度-10～50℃、湿度0～90%RHの環境で保管してください。
- 取扱説明書および付属品は紛失しないよう、大切に保管してください。



長期間使用しない場合には、赤外線センサーから電池を抜いてください。電池の破損や液漏れにより、火災の原因となるおそれがあります。



赤外線センサーを保管する際は、重いものを載せたり、力がかかったりする状態で保管しないでください。赤外線センサーが破損・故障するおそれがあります。

■廃棄について

- 廃棄する際には、各自治体の指示に従ってください。

13 故障かな?と思ったら

- 故障でない場合がありますので、修理を依頼される前にもう一度、以下の項目をチェックしてください。
- 処置をしても正常に動作しない場合はすぐに使用を中止し、パラテクノコールセンター（33ページ参照）までご連絡ください。

症状	チェック	処置	参照ページ
使用者の動作を検知していない	赤外線センサーの電源が入っていますか？	赤外線センサーの電源を入れてください。	26
	赤外線センサーの電池が消耗していませんか？（橙点灯）	赤外線センサーの電池を交換してください。	16
	赤外線センサーの設定・設置が正しくされていますか？	赤外線センサーの設定・設置をやり直してください。	12~24
	センサーが正常に動作していますか？	テストモードにして、センサーの動作確認を行ってください。	25
	一時停止状態になっていませんか？（1秒間隔の緑点滅）	一時停止ボタンを押して、解除してください。	27
	センサー部分にほこりなどが付着していませんか？	日常のお手入れに従って汚れを落としてください。	29
	電源LEDが橙点滅（0.5秒間隔）していませんか？	センサーに異常が発生している可能性があります。パラテクノコールセンター（33ページ参照）までご連絡ください。	33
使用者の動作を検知しているが通知しない	受信機の電源が入っていますか？	受信機の電源を入れてください。	26
	赤外線センサーの電波が受信機まで届いていますか？	赤外線センサーと受信機の間には障害物がないか確認してください。 受信機を赤外線センサーの電波範囲内でご使用いただくか、送信機（別売）（28ページ参照）をお買い求めいただき、送信機（別売）の中継モードをご利用ください。	25 28
使用者が動作していないのに通知する	赤外線センサーの前にもものが置かれていませんか？	赤外線センサーの前からものを取り除いてください。	25
	赤外線センサーの前を人やペットが移動していませんか？	使用者の動作を検知できる範囲で赤外線センサーの設置場所を変更してください。	25

14 仕様

品名		赤外線センサー		電源ケーブル
品番		NN-3031		NN-3051
寸法 (cm)	本体	13.5 × φ4.5		ケーブル長さ 300
	台座	5.5 × 4.0 × 1.2		
	アタッチメント	6.5~9.5 × 3.3 × 6.5		
製品質量 (g)	本体	110		110
	台座	30		
	アタッチメント	65		
電源		単3型アルカリ電池 (2本) 電源ケーブル (5V/1A)		—
主な材料		ABS/PBT		PVC
環境条件	輸送時 保管時	温度 (°C)	-10 ~ 50	
		湿度 (%RH)	0 ~ 90	
	使用時	温度 (°C)	5 ~ 40	
		湿度 (%RH)	30 ~ 90	
周波数		920MHz帯 (3波)		—
通信距離 (m)		見通し100		—
検知距離 (m)		0.5、1.0、1.5		—
耐用年数		5年 [自己認証 (当社データ) による] ※ただし、消耗部品は除く		

15 アフターサービスについて

1.保証書

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、記載内容をよくお読みいただき大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

販売店名・お買い上げ日の記入がない場合は、品番・販売店名・お買い上げ日が確認できるように、製品をお買い上げの領収書などを保証書と一緒に保管してください。

2.修理を依頼される時

修理のご依頼は、お買い上げの販売店または弊社製品の修理受付窓口であるパラテクノコールセンター（下記参照）までご連絡ください。

■連絡していただきたい内容

- 製品表示ラベルの番号に記載されている品名、品番、ロットNo.、シリアルNo.（位置は4～5ページ参照）
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- 施設名、お名前、ご住所および電話番号

■消耗部品について

- 台座・受信機の充電機は消耗部品です。

■保証期間内は

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。ただし、保証期間内でも修理が有償になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間が過ぎているとき

修理により使用できる製品については、ご要望により有償で修理いたします。

3.部品の最低保有年数は

弊社では、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間を製造打ち切り後5年としております。

4.アフターサービスについてご不明な場合

お買い上げの販売店、またはパラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

パラテクノコールセンター ☎0120-54-8639 受付時間：平日 8:00～18:00

土・日・祝日 9:00～17:00（年始は休業いたします）

【パラテクノ株式会社について】 弊社製品の修理や保守点検などの各種サービスを実施する会社です。

<パラマウントベッド株式会社>

本社	〒136-8670	東京都江東区東砂2丁目14番5号	☎(03)3648-1111(大代)
東京支店	〒136-8670	東京都江東区東砂2丁目14番5号	☎(03)3648-1171(代)
札幌支店	〒060-0062	札幌市中央区南2条西13丁目318番地11	☎(011)271-1181(代)
仙台支店	〒984-0015	仙台市若林区卸町2丁目3番の3	☎(022)239-5211(代)
さいたま支店	〒338-0001	さいたま市中央区上落合9丁目4番7号	☎(048)852-0707(代)
横浜支店	〒194-0004	東京都町田市鶴間5丁目3番33号	☎(042)795-8800(代)
名古屋支店	〒461-0001	名古屋市東区泉1丁目20番17号	☎(052)963-0600(代)
大阪支店	〒550-0001	大阪市西区土佐堀2丁目3番33号	☎(06)6443-8791(代)
広島支店	〒733-0011	広島市西区横川町3丁目8番5号	☎(082)293-1311(代)
福岡支店	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東3丁目14番20号	☎(092)461-1131(代)

保証書

品名	見守りSENSEα 赤外線センサー タイプ	品番	NN-3031 NN-3051
保証期間	1年間		
★お買い上げ日	年 月 日		
お客様	お名前		
	ご住所	〒□□□□ - □□□□ ☎ ()	
★販売店	店名		
	住所	☎ ()	

★印欄の情報が確認できない場合は無効となりますので販売店から発行された★印欄の情報が確認できる領収書などを、本保証書と一緒に大切に保管してください。

この保証書は、本書の記載内容に基づき無償修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルなどの注意書きに従った正しい使用状態で故障した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

※本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

保証規定

- 保証期間内（お買い上げの日より1年間）に、正常なご使用状態において故障した場合は、無償で修理いたします。
- 次のような場合は、保証期間内でも修理は有償となります。
 - 使用上の誤り、あるいは不当な改造や修理による故障および損傷
 - 弊社が指定する適合品以外の製品と組合せて使用したことによる故障および損傷
 - お買い上げ後の移動、設置、落下あるいは輸送による故障および損傷
 - 火災、煙害、異常電圧および地震、雷、風水害、その他、天災地変などによる故障および損傷
 - 保証書のご提示がない場合
 - 本保証書の保証期間および販売店名が確認できない場合
 - 字句を書き換えるなどの不正行為が発覚した場合
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
 - This warranty is valid only in Japan.

修理実施日	修理内容	担当者

※この保証書は、本書に明示した期間、条件の基において無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店、またはパラテクノコールセンターまでお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書の中の「アフターサービスについて」をご覧ください。

パラマウントベッド株式会社

〒136-8670 東京都江東区東砂2丁目14番5号